



## 第 2 号緊急決議案

戦争ではなく外交こそが進むべき道であることを PSI が立ち上がり訴える時である

2017 年 10 月 30 日～11 月 3 日にスイス・ジュネーブにて会合する  
国際公務労連(PSI)第 30 回世界大会は、

ここ数ヶ月、米国と北朝鮮の間の緊張は増し、高まる相互不信と挑発による危険なにらみ合いが両国間で続いている。PSI は、脅しと侮辱が核戦争の瀬戸際に我々を導きかねないことに、深く憂慮する。今こそ、我々が立ち上がり訴える時である。

世界の国々は、米国および北朝鮮が世界秩序への脅威となる危機を引き起こすことを止めることに対し、利益を共有し、そして責務を負う。この紛争の解決には、国際社会全体の協力と共に、地域の全ての当事国との交渉に繋がる最高位のエンゲージメントおよび外交を必要とする。

北朝鮮政府は核兵器とミサイルの開発を加速、そして、これに対しドナルド・トランプ米国大統領は北朝鮮の「完全に破壊する」との脅しで応え、米国と韓国は北朝鮮に対する軍事オプションに備え合同軍事演習を実施している。

核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)は、ワシントンと平壤の間で行く詰まる核問題は、世界に現存する 15, 000 もの核兵器を廃絶する切迫した必要性を知らせる「モーニングコール」であると指摘している。

核を用いた紛争の可能性は、多くの政治的、経済的、社会的に重要な課題に直面する現代において、全ての国への脅威である。

悪循環を断ち切らなければならない。北朝鮮に対する制裁、孤立化、脅しは役に立たなかった。しかしながら 1994 年の枠組み合意、そして再び 2003 年から 2007 年の 6 カ国協議で見られた通り、北朝鮮との外交は可能である。最近では 2017 年 6 月に北朝鮮外交官が、米韓合同軍事演習の実施が凍結されれば、核兵器およびミサイルの実験を凍結する意思がある旨、表明している。

本世界大会は、外交的アプローチが地域の安定を確立するに向け矛盾なくかつ当然のアプローチであり、このアプローチを追求するにおいて、韓国、日本、グアム、フィリピンなどの地域の PSI 加盟組織と立場を共にする。

それゆえに本世界大会は、

北朝鮮および米国に対し、脅迫的行動、心無い言葉使い、危険な兵器実験を止め、直ちに交渉を開始することを**求める**。

ドナルド・トランプ氏に対し、ツイートを止め会話を始めることを**求める**。

地域の国々（北朝鮮、韓国、中国、日本、ロシア、米国）に対し、多国間対話に基づく外交的行動の追求を**要請する**。

すべての当事者に対し、朝鮮戦争を終結する平和条約の締結、および、核先制攻撃をちらつかせる米国による脅迫行為の完全なる停止を含む、朝鮮半島の平和的、完全かつ検証可能な非核化による、恒久的平和の構築に向けて行動することを**求める**。

南北間の経済的、文化的そして労働者間の交流を通して、両国間の関係改善を図る取り組みを**支持する**。

核拡散防止条約、核兵器禁止条約を含む、核拡散に係る多くの国連条約によって確立された平和のための枠組みの極めて大きな重要性を**確認**し、

**PSI** に対し、現在の対立の状況、その背景、これらが労働者にとって何を意味するかについて、韓国、米国、その他の関係国の加盟組織と共に、**PSI** 加盟組織とそのメンバーに対し周知・教導することを**求める**。

朝鮮半島および東アジア地域における平和の達成に向け、共通認識および世界の労働者にとっての戦略の構築を目標に、韓国、米国およびその他関係国の **PSI** 加盟組織に対し、現在の対立に関し意見の交換を図ることを**求める**。

瀬戸際戦術や戦争ではなく、外交および交渉が我々が進むべき道であることに固い決意を持って**望む**。

提出: **PSI** 韓国加盟組合協議会、アメリカ教員連盟 (**AFT**)、**PSLINK** (フィリピン)